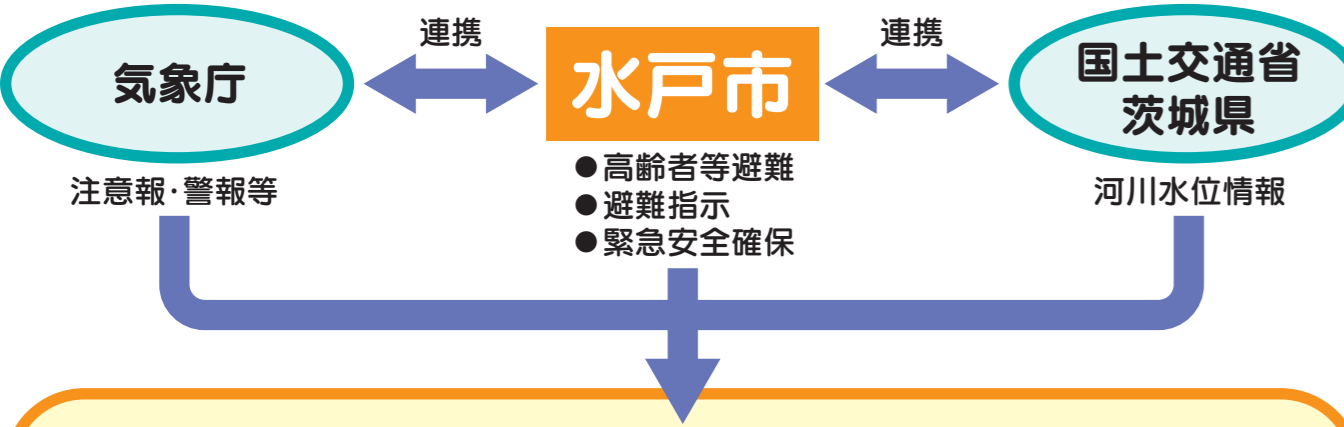


# 洪水に備えて 洪水浸水想定区域とともに情報入手方法や日頃からの備えを確認しておきましょう。

## 避難などに関する水戸市からの情報

災害時に正しい情報入手して、冷静に行動することは、被害や不安を軽減することにつながります。

テレビ、ラジオ、インターネットなどを利用し、積極的に情報を収集しましょう。



**●テレビ**  
●ラジオ(防災ラジオ)  
●インターネット

水戸市では、水戸コミュニティ放送株式会社(FMはるるん)との連携により、市内の被害状況や避難所の開設などの情報をFMはるるん 76.2MHz から放送します。

また、防災ラジオは、水戸市が避難に関する情報を発信するときに、電源が自動で入る機能があり、浸水想定区域内にお住まいの方等に無償で貸出しています。

※※※※※(AM1197kHz)、NHK(AM594kHz)等とも連携し、上記の情報を随時発信します。

●高齢者等避難  
●避難指示  
●緊急安全確保

●市ホームページ  
●広報車(市・消防署・消防団)  
●防災行政無線  
●緊急速報メール  
●防災メール

●SNS(LINE, Facebook, Twitter)  
LINE @mitocity  
Twitter @kouhou\_mito  
Facebook @mimika310

【SNSを活用した情報発信】  
LINEやTwitterなどのSNSを活用し、気象情報や防災情報をお知らせしています。また、災害時、市民の皆様へ知らせたい緊急の投稿も受け付けています。市民の皆様には、Twitterに「#災害水戸」と位置情報をつけて、被害状況の写真や動画等の投稿をお願いします。

**水戸市防災メールの事前登録をぜひお願いします。**

「http://www.city.mito.lg.jp」にアクセス → 「メールマガジン(配信申込み)」をクリック → 「災害情報」にチェック → メールアドレス等を入力 → 「送信」をクリック → 確認用メールが配信されます。

## 気象・河川水位などに関する情報

**気象情報を知りたいとき**

●水戸地方気象台の情報  
●キキクル(危険度分布)

●水戸地方気象台の情報  
●キキクル(危険度分布)とは

●土壌雨量指数・表面雨量指数・流域雨量指数と危険度分布

●水位の変化を確認したいとき

●スマートフォンで情報を知りたいとき

## 雨の強さと降り方の目安

降っている雨を観察することで、おおよその雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

雨の降り方(1時間雨量)	やや強い雨(10~20mm)	強い雨(20~30mm)	激しい雨(30~50mm)	非常に激しい雨(50~80mm)	猛烈な雨(80mm以上)
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘が全く役に立たなくなる		
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない		寝ている人でも雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車の運転中		ワイパーを早くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる		車の運転は危険な状態

**雨の降り方と周囲の状況**

強い雨(1時間に20~30mm) 激しい雨(1時間に30~50mm) 非常に激しい雨(1時間に50~80mm) 猛烈な雨(1時間に80mm以上)

車をさしてもぬれる。車のワイパーを早くしても見づらい。道路が川のようになる。歩くのは危険です。傘はまったく役に立たなくなる。マンホールから水が溢れ出す。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。経路したくない大雨

## 桜川の洪水浸水想定区域について

- この洪水ハザードマップは、桜川の対象区間(茨城県管理河川)について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨により桜川が氾濫した場合の状況を予測し、浸水の区域や浸水深を表示した図面です。
- この浸水想定区域図は、現時点の桜川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により桜川が氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 想定最大規模降雨  
現状の科学的な知見や研究成果等からある程度の確かさをもちて想定し得る最大規模の降雨です。  
流域全体(直轄区間含む)  
24時間 総雨量671mm  
ピーク時の1時間雨量168mm

## 安全な避難のために

- 避難の準備**  
非常持ち出し品の用意や、動きやすい服装に着替え、ひもでめられる運動靴を用意しましょう。
- 避難するときは**  
降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難指示等を待たずに自主的に避難しましょう。また、避難する前に隣近所に声をかけ、なるべく集団での避難を心がけましょう。
- 経路の確認**  
避難場所等までの経路を確認し、安全に避難できるようにしておきましょう。
- 車での避難は危険**  
車での避難は、緊急車両の通行の妨げや、交通渋滞を招く原因となります。また、浸水すると動けなくなり、特別な場合を除いては徒歩で避難しましょう。
- 浸水が始まったら**  
浸水が始まった後に移動することは非常に危険です。屋内の高いところへ避難して救助を待ちましょう。

## 警戒レベルとマイタイムライン

### 5段階の警戒レベル

避難行動(災害から生命・身体を保護するための行動)を判断する情報は、5段階の警戒レベルを用いてお伝えします。警戒レベル3(高齢者等避難)などの避難情報が発令されたら、落ち着いて適切な避難行動をとりましょう。また、危険を感じたら基準にとらわれず、早めの避難をお願いします。※避難情報は、必ずしも警戒レベルの順番で発令されるとは限りません。

**警戒レベル1 早期注意情報** 気象庁が発表  
**警戒レベル2 大雨注意情報** 気象庁が発表

ハザードマップ等で自分がとるべき避難行動を確認し、避難に備えましょう。

**警戒レベル3 高齢者等避難** 水戸市が発表  
**危険な場所から高齢者等は避難!**  
災害のおそれあり  
避難に時間がかかる方(高齢者・障がいのある方など)は、避難行動を開始しましょう。

**警戒レベル4 避難指示** 水戸市が発表  
**危険な場所から全員避難!**  
災害のおそれ高い  
危険な場所にいる方は全員、安全な場所に避難しましょう。

**警戒レベル5 緊急安全確保** 水戸市が発表  
**命の危険 直ちに安全確保!**  
災害発生または切迫  
すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動を取りましょう。  
安全を確保する行動の例(場所や状況による)

### 気象庁からの気象情報

早期注意情報(警戒レベル1相当) 洪水注意情報(警戒レベル2相当) 氾濫警戒情報(警戒レベル3相当) 氾濫危険情報(警戒レベル4相当) 氾濫発生情報(警戒レベル5相当)

災害が起こるおそれ 河川の増水、道路の冠水、家の床下浸水のおそれ。最新の気象・避難情報に注意!

重大な災害が起こるおそれ 河川の更なる増水による氾濫、道路の冠水、家の床下浸水のおそれ。危険な状況。

大災害への最大級の警戒 数十年に一度の大雨が予想され、洪水・土砂崩れなど大災害発生のおそれが極めて高い状況。

### 「マイタイムライン」を作成しておきましょう!

「マイタイムライン」とは、台風や大雨により川が氾濫するまでに自分自身や家族がとるべき行動を時系列的に整理し、災害に備え作成しておくものです。防災行動のチェックリスト、また、避難判断の支援ツールとして下の表を活用し、避難の仕方(主な基本行動)を完成させましょう。

### 【わが家の避難場所】

警戒レベル	台風発生、大雨等の予報がある場合	警戒レベル1相当	警戒レベル2相当	警戒レベル3相当	警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
避難行動						
記載例	●台風の進路や今後の雨の情報を調べる。 ●避難するときに持っているものを準備する。 ●家族全員の予定を確認する。	●雨や川の様子に注意する。 ●居住地域や上流部の雨量を調べ始める。 ●川の水位を調べ始める。	●避難に備え準備を始める。 ●家族等との連絡、非常持ち出し品の用意等、避難準備をする。 ●高齢者や体の不自由な方などがある場合や移動に時間がかかる人は早めに避難を開始する。	●水位や避難情報を確認する。 ●家族等との連絡、非常持ち出し品の用意等、避難準備をする。 ●水戸市から発表される情報を確認する。	●避難開始(避難場所)を確認する。 ●家族等との連絡、非常持ち出し品の用意等、避難準備をする。 ●浸水などにより外が危険な場所には屋内の高いところに避難する。	●屋内の高いところに避難し、救助を要請する。 ●近隣の高くて頑丈な建物等へ避難する。

## 気象情報の発表基準

**注意報**  
大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、濃霧、乾燥、低温、霜、着氷、着雪、融雪、なだれ  
災害の起こるおそれがある場合に気象庁が発表します。

**警報**  
大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮  
重大な災害の起こるおそれがある場合に気象庁が発表します。

## 記録的短時間大雨情報

現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、雨量基準を満たし、かつ、大雨警報発表中に、キキクル(危険度分布)の「非常に危険」(うす紫)が出現している場合に気象庁が発表します。

## 土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、市町村長が避難指示等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考になるよう、都道府県と気象庁が共同で発表します。

## 特別警報

大雨(土砂災害、浸水害)、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮  
重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に気象庁が発表します。

## 日頃からの備え

**●非常持ち出し品リスト**

日頃から非常持ち出し品を備えておきましょう。(必要なものをチェックしましょう)

●非常持ち出し品は、家族構成を踏まえ必要最小限の物を用意し、すぐ取り出せる場所に置きましょう。荷物を増やしすぎると、スムーズに避難できなくなりますのでご注意ください。

●非常持ち出し品リスト

●非常食品 飲料水(目安:1人1日3ℓを3日分)、乾パン、缶詰など火を必要としない食品(賞味期限を必ず確認し、賞味期限が切れているものは、賞味期限を過ぎないように注意してください。)

●非常日用品 衣類、タオル、洗面用具、生理用品、紙おむつ等

●非常医薬品 救急箱、医薬品、マスク、常備薬の予備等、包帯、絆創膏、消毒薬、救急セット

●非常情報機器 携帯電話、スマートフォン、充電器、モバイルバッテリー、ラジオ等

●非常照明器具 懐中電灯、電池、ろうそく、マッチ、ライター等

●非常貴重品 現金、預金通帳、印鑑、権利証等

### ●災害時伝言ダイヤル171

171番にダイヤル

伝言を録音する場合(暗証番号なし) 1 0000□□-xxxx → 伝言を吹き込む  
2 0000□□-xxxx → 伝言を聞く

●伝言利用受付日  
●毎月1日、15日 0:00~24:00 ●正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00) ●防災週間(8月30日0:00~9月5日17:00)  
●防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

### ●わが家の防災メモ あらかじめ記入し、家族みんながわかるところに置いておきましょう。

●家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校)	住所	電話

●家族の救急用データ

家族の名前	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病歴